

鹽竈十福

発行所 〒985-1810 塩竈市一森山一番一号
 志波彦神社 社務所
 電話 〇二二-三六七-一六一(代)
 FAX 〇二二-三六五-五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



文化燈籠



唐門を入り、すぐにあるのは文化燈籠。江戸時代後期の文化年間に、北方警備に扨捉・国後へと出兵した仙台藩が凱旋記念として奉納したものである。その時代、欧米諸国は先を競ってアジアに進出していった。蝦夷地にあつては、ロシアからの干渉。遂には、樺太と扨捉で漁場が襲われ略奪連れ去り事件が発生した。幕府は東北諸藩に出兵を命じ、文化五年(一八〇八)二月に二千名を超える仙台藩士が扨捉・国後・箱館の警固に進発している。扨捉島上陸は四月二十日。現地では警固本部となる陣屋建設を行い警戒警護活動に当り、領土を守る日本の意志を知らしめた。よって、ロシアの行動は沈静化する。厳寒期の過酷な征途と、夏にも濃霧に覆われる寒冷地での警護活動の中の死亡者は六十八名。出兵費用は六万両にも及び、幕府への借入金要請までしている。こうして、我等が郷土の先人が正に心血を注いで守り抜いた扨捉・国後は、残念至極未だにロシアにかすめ取られたままである。御両社朔日祭の祝詞には、「一日一刻も早く失われたる北の島々を還さしむべく嚴の御力授け給へ」とあり、領土返還を熱禱申し上げている。しかし、肝心なのは領土への国民意識であろう。文化燈籠によって示された領土を守り抜く気概を持たねばならぬ。その気概を世界に示してこそ、領土返還への道は開けてゆく。

奉祝

国幣中社列格一五〇年 志波彦神社遷座記念祭 並び氏子崇敬会秋季大祭



昭和13年の遷座祭

本年は志波彦神社が明治四年五月に国幣中社に列格されてから、百五十年の佳節にあたります。

これを寿ぎ、九月二十九日、志波彦神社遷座記念祭並びに氏子崇敬会秋季大祭に併せて奉祝祭が斎行されました。

志波彦神社は「延喜式」神名帳に名神大社として記された古社で、かつては岩切村(仙台市宮城野区岩切)に鎮座していました。

国幣中社列格後、明治七年



に鹽竈神社別宮に遷祀され、それから六十四年後の昭和十三年に神職・氏子崇敬者の悲願であった御社殿が、国費により造営されました。近代神社建築の粋を集めて造営された御社殿は厳格な趣に満ち、昭和三十八年に塩竈市の文化財に指定されています。また朱塗の大鳥居は、昭和十五年に完成し、多くの参拝者を迎えています。

裏千家献茶祭

十月五日

十月五日(火)、鹽竈神社左右宮において裏千家献茶祭が斎行されます。

当日は、裏千家家元・千宗室氏のお点前で濃茶・薄茶が点てられ、御神前にお供えされます。

茶道裏千家淡交会宮城支部が主催する献茶祭は、十四代家元淡々斎宗匠と嘉代子夫人(仙台市出身)、また夫人の叔母であり養母であった伊藤幾久寿女史(号宗幾)が昭和五年四月に献茶を行われたことに始まります。



抜穂祭

九月十八日、御神田において抜穂祭が斎行されました。去る五月八日の御田植祭で植えられたヒトメボレの苗は、関係者の御尽力によって順調に生育しました。

収穫された稲は、十一月二十三日に斎行されます新嘗祭において御神前にお供えされます。

神馬塚慰霊祭

九月二十日、神馬塚の秋季慰霊祭が斎行されました。

当社御神馬代々の墓所である神馬塚(利府町加瀬十三本塚)に、米・酒のほか人参やフスマなど馬の好物が神饌としてお供えされました。

当社への神馬奉献の記録は、現存するものでは文和五年(一三五六)の古文書にみられます。以降、先代の「金龍号」まで二十頭が奉献されました。

御両社神輿 清掃奉仕実施

七月十一日、氏子青年会と神輿世話役会による御両社の神輿清掃奉仕が実施されました。

新型コロナウイルスの影響により、三月の帆手祭、四月の花祭は境内巡幸となり、みなと祭は二年続けての中止となりました。

博物館前に久しぶりに御両社の神輿が並び、参加者は来年こそ市内巡幸、そしてみなと祭の海上渡御が奉仕できるように願いながら清掃に励んでいました。



講社だより

講社大祭

例年十月のスポーツの日を含めた三連休に斎行していただきます講社大祭は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年同様祈祷形式で奉仕となります。

十月八日(金)より十四日(木)までの一週間、午前九時から午後三時までの受付となります。

各団体の皆様は、最小限の御代表での御参拝をお願いします。皆様の御参拝を御待ちしています。

敬神婦人講だより

清掃奉仕実施

六月二十三日、宇仁講長以下三十三名により、鹽竈神社別宮御垣内の清掃奉仕が実施されました。

新型コロナウイルスの影響により、神拝行事や例会等の活動が中止となっていました。が、久しぶりに再会した講員たちは、和気藹々と清掃に励んでいました。



初穂曳中止のお知らせ

例年、十一月二十三日に新嘗祭に併せ実施していただきます初穂曳は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年に続き中止となりました。



神宮大麻頒布

十二月二日(木)より約十日間にわたり、当社神職が塩竈市内各戸を訪問して伊勢の神宮の御神札「神宮大麻」と令和四年の神社祭事曆、御神像(お正月さま)をお頒布します。

お正月を迎えるにあたり、氏神様のお札と併せ、神宮大麻を奉斎して神恩に感謝いたしますでしょう。

大晦日大祓式

十二月三十一日(金)午後三時より祓所において大晦日大祓式を執行します。

半年間の穢れを祓い、新年を迎える神事です。御参列いただき、清々しく新年をお迎え下さい。

神宮大麻にあわせて「形代」をお配りします。当日参列できない方は、事前にお納め下さい。

○形代の取扱い方

お名前・年齢を記入し体を撫で、最後に息を吹きかけて下さい。形代に移した穢れをお祓いします。

七五三詣の御案内

七五三は、氏神様の御加護によつて無事成長できたことを感謝すると共に、これからの生活も見守つて下さる様お願いする大切な人生儀礼です。

今年(平成三十一年・令和元年生(三歳男女)、平成二十九年生(五歳男子)、平成二十七年生(七歳女子))のお子様(何れも数え年)が該当します。

十一月末日まで七五三祈禱を受けられたお子様には、記念品をお渡しいたします。



巫女神楽舞温習

七月十三日・十四日の両日、巫女の神楽舞の温習が行われました。

藤波祥子先生(亘理郡八重垣神社宮司)の指導のもと、当社独自の一森の舞・海人の舞、また浦安の舞、悠久の舞などの稽古に、巫女たちは熱心に取り組みました。



大海上安産祈願 大漁満足	十一月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	祭事暦	国家安泰	五穀豊穰	家内安全	祭事暦		
	三十一日	三十一日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	一月	一月	一月	一月	一月	一月	
	大祓式・除夜祭	嘉津良比祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	新嘗祭	朔日祭	朔日祭	朔日祭	朔日祭	朔日祭	朔日祭	

博物館だより

博物館実習実施

九月十三日から十七日まで
の五日間、学芸員資格取得に
かかる博物館実習を実施し
ました。

今年度は東北学院大学より
三名、宮城学院女子大学より
一名が参加しました。

博物館における様々な活動
についての講義や各種資料の
取扱い、記録、梱包作業など
行いました。

実習生らは古文書や刀剣な
ど実際の資料に向き合い、真
剣な面持ちで取組んでいまし
た。



文芸欄

百万本のひまわりからの招待状
眉太き蕉翁像や萩の雨
潮騒の洞のねぐらや月涼し
晩涼の波は礁を越えて来し
ままごとの葉っぱの茶碗小鳥来る
一の宮走りまはりし捕虫網
蟬しぐれ子と黙食のレストラン
紅の花姉さん被りの子供達
三の丸野面の苔のいきいきと
虫のこゑ二百二段の右ひだり

大野 みよ子
今田 須美子
上田 由美子
大友 セツノ
横田 みち子
菅原 和子
佐藤 悦子
池田 智恵子
今野 紀美子
及川 源作

結婚
おめでとう
ごごいいます

岩手県	仙台市	栗原市	大崎市	宮城県	仙台市	石巻市	大崎市	群馬県	柴田郡	仙台市	仙台市	塩竈市	埼玉県	埼玉県	仙台市	仙台市	名取市	六月
齋藤	千賀	後藤	鈴木	吉澤	竹内	千葉	藤原	本多	村上	熊谷	熊谷	千葉	三輪	千葉	平山	山本	武尾	六月
星梨花	剛	拓洋	七海	和	大空	一輝	麻奈美	遥	謙造	美枝子	圭太	ゆい	典行	ゆい	紗貴	俊明	耕介	六月
(敬称略)																		

銅板奉納者芳名

六月より八月にかけて、
多くの方々より銅板の御奉
納をいただきました。

山形県	大場	美和子	六月
ほか六十六名			
北海道	佐藤	謙	七月
ほか七十四名			
埼玉県	志水	康司	八月
ほか六十八名			
(敬称略)			

人事異動

新任(九月二十一日付)
社務員見習 三浦 馨

赤巻

たび重なる大雨や台風の
被害に遭われた皆様にお見
舞い申し上げます。
今年も残り三か月となり
ました。穏やかに過ごした
いものです。

(慶)